



株式会社 大分銀行

# 2025年度 経営説明会

---

取締役頭取 高橋 靖英

# 2025年度 経営説明会 目 次

## I. 新役員体制について

- |          |     |
|----------|-----|
| 1. 新役員体制 | 4～6 |
|----------|-----|

## II. 決算概要と業績予想、中計進捗

- |                         |    |
|-------------------------|----|
| 1. キーメッセージ              | 8  |
| 2. 業績推移                 | 9  |
| 3. 2025年3月期 決算概要        | 10 |
| 4. 目標指標の進捗状況            | 11 |
| 5. 2026年3月期 業績予想        | 12 |
| 6. 中期経営計画2024“より高い成長軌道” | 13 |

## III. 現状の取組み、これからの取組み

- |               |       |
|---------------|-------|
| 1. 法人営業の強化    | 15～18 |
| 2. 個人営業の強化    | 19～20 |
| 3. 地域/社会への取組み | 21～22 |
| 4. 人財に関する取組み  | 23    |

## IV. 企業価値向上へ

- |                          |    |
|--------------------------|----|
| 1. 市場からの評価               | 25 |
| 2. 市場での当行の現在地            | 26 |
| 3. ステークホルダーとの対話          | 27 |
| 4. 2024年度の資本政策と株価パフォーマンス | 28 |
| 5. 利益成長を通じた株主還元          | 29 |

## V. 伝統の重みを受け継ぎ、未来へ向けて

- |               |    |
|---------------|----|
| 1. 大分銀行の歴史    | 31 |
| 2. 目指すビジネスモデル | 32 |



2025年度 経営説明会

# I. 新役員体制について



取締役会長  
(代表取締役)  
**後藤 富一郎**  
1955年 5月 5日生  
出身地：佐伯市



取締役頭取  
(代表取締役)  
**高橋 靖英**  
1963年 1月 18日生  
出身地：大分市



専務取締役  
**岡松 伸彦**  
1961年 6月 22日生  
出身地：大分市



常務取締役  
**佐藤 泰則**  
1964年 10月 19日生  
出身地：津久見市



常務取締役  
**池田 雄**  
1966年 1月 21日生  
出身地：日田市

昇任



常務取締役  
**濱田 法男**  
1967年 5月 14日生  
出身地：中津市



社外取締役  
**和田 久継**  
1953年 2月 26日生  
出身地：宇佐市



取締役  
(監査等委員)

**平川 浩行**

1963年 8月 30日生  
出身地：臼杵市

新任



取締役  
(監査等委員)

**森 毅**

1969年 5月 22日生  
出身地：東京都



社外取締役  
(監査等委員)

**河野 光雄**

1952年 2月 9日生  
出身地：大分市



社外取締役  
(監査等委員)

**山本章子**

1958年 7月 20日生  
出身地：大分市

新任



社外取締役  
(監査等委員)

**能美 知子**

1981年 10月 28日生  
出身地：山口県



**常務執行役員**  
(本店営業部長兼東支店長)

**渡辺 祐司**

1967年 11月 24日生  
出身地：大分市



**常務執行役員**  
(別府支店長)

**植木 克彦**

1965年 5月 18日生  
出身地：大分市



**執行役員**  
(中津支店長兼福沢通支店長兼  
鶴居支店長兼中津東支店長)

**阿南 裕輔**

1968年 8月 29日生  
出身地：大分市



**執行役員**  
(人財開発部長)

**猪股 高士**

1969年 6月 21日生  
出身地：豊後高田市

新任



**執行役員**  
(営業戦略部長)

**神田 哲也**

1972年 1月 21日生  
出身地：豊後大野市

新任



**執行役員**  
(法人営業支援部長)

**阿部 修**

1971年 4月 22日生  
出身地：大分市



**執行役員**  
(リスク統括部長)

**三浦 正敦**

1968年 11月 19日生  
出身地：大分市



2025年度 経営説明会

## Ⅱ. 決算概要と業績予想、中計進捗

(注) 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。  
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包するものです。  
将来の業績は、経営環境の変化等により変動する可能性があることにご留意ください。



© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.



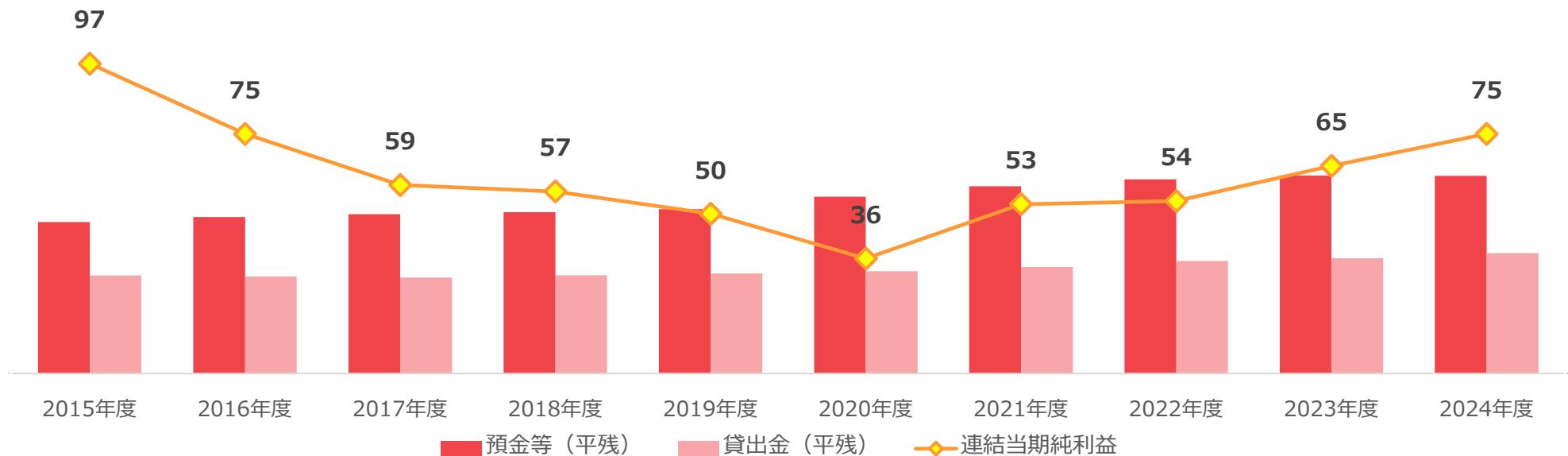
## ド地銀経営を貫き、バランスあるステークホルダー経営

- ❑ 2025年3月期決算は、連結当期純利益75億円（前年比＋10億円、計画比16億円）。  
計画を上回る業績により、株主還元を充実させ、総還元性向は41.8%。  
（自己株式取得14億円、一株当たり年間配当金15円増配（110円））
- ❑ 2026年3月期は、4期連続の増収増益の見通し。  
中計最終年度の計画（連結当期純利益、ROE）前倒し達成を見込み、  
150円への増配を予定。  
「人財」と「預金」が、企業価値向上の鍵。
- ❑ お客さまの事業・資産・情報を守る信頼の基盤となるため、「お客さま」と「地域」を徹底的にサポートする「ド地銀経営」を貫き、全てのステークホルダーの価値を高めていく「バランスあるステークホルダー経営」がブレない経営戦略。

□ 大分県内のリーディングバンクとして、預金・貸出金ともに一定の県内シェアを維持しつつ、ボリュームとシェアともに堅調に推移しております。

■ 預金等・貸出金・連結当期純利益の推移（2015年度からの10年）

（億円）



|         | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 預金等（平残） | 27,641 | 28,606 | 29,096 | 29,489 | 30,023 | 32,303 | 34,198 | 35,462 | 36,147 | 36,096 |
| 県内シェア   | 52.7%  | 52.9%  | 53.5%  | 53.9%  | 54.2%  | 54.7%  | 55.0%  | 55.5%  | 55.6%  | 55.5%  |
| 貸出金（平残） | 17,880 | 17,717 | 17,524 | 17,946 | 18,260 | 18,711 | 19,484 | 20,557 | 21,298 | 21,971 |
| 県内シェア   | 42.6%  | 42.0%  | 42.5%  | 42.3%  | 43.0%  | 43.4%  | 43.8%  | 44.5%  | 44.8%  | 45.4%  |

### ■ 連結経営成績（大分銀行グループ）

|                | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 増減                                                                                        |
|----------------|----------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経常収益（一般企業の売上高） | 732億円    | 779億円    |  +47億円 |
| 経常利益           | 90億円     | 111億円    |  +21億円 |
| 連結当期純利益        | 65億円     | 75億円     |  +10億円 |

### ■ 経営成績（大分銀行単体）

【コア業務純益ベース】 → 銀行の本業ベースの損益状況

|                                     | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 増減                                                                                          |
|-------------------------------------|----------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経常収益（一般企業の売上高）                      | 617億円    | 658億円    |  +41億円  |
| <b>コア業務純益</b><br><b>【銀行の本業収益指標】</b> | 117億円    | 168億円    |  +51億円 |
| 除く投資信託解約損益                          | 97億円     | 132億円    |  +35億円 |
| 経常利益                                | 76億円     | 96億円     |  +20億円 |
| 当期純利益                               | 56億円     | 66億円     |  +10億円 |

- 2024年度においては、現時点で測定ができない「大分県の経済成長率」を除き、すべての目標指標を達成しております。

| 【中期経営計画2024 指標】 |                                                            | 2024年度 目標             | 2024年度 実績                     | < Vision2031 目標 >              |
|-----------------|------------------------------------------------------------|-----------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| 財務指標            | 連結当期純利益<br>※ 親会社株主に帰属する当期純利益                               | 59億円                  | 75.5億円                        | 100億円以上                        |
|                 | 連結ROE<br>※ 株主資本ベース                                         | 3.13%                 | 3.96%                         |                                |
|                 | 連結自己資本比率<br>※ バーゼルⅢ最終化完全実施ベース                              | 10%程度                 | 10.11%                        |                                |
|                 | 単体OHR                                                      | 76.71%                | 60.56%                        |                                |
| エンゲージメント指標      | お客さまの付加価値額増加<br>※ 県内中小企業取引先（決算書受領先）における付加価値額（営業利益、減価償却費など） | 5,809億円<br>(2023年度実績) | 7,195億円                       |                                |
|                 | 金融商品仲介資産残高                                                 | 5,322億円               | 5,466億円                       | 7,000億円                        |
|                 | SDGs投融资額                                                   | 1,250億円               | 2,332億円                       | 5,000億円以上                      |
|                 | CO2排出量削減率                                                  | —                     | 2013年度比 ▲61.4%                | 70%以上削減                        |
|                 | 従業員エンゲージメント<br>※ 従業員意識調査：「当行の従業員であることを誇りに思う」肯定回答割合         | 85%以上                 | 89.7%                         |                                |
|                 | 女性管理職比率                                                    | 3.8%                  | 5.11%                         | 10%以上                          |
| 社会インパクト指標       | 地域ビジョン個別PJ実行件数                                             | 0件                    | 5件                            |                                |
|                 | 大分県の経済成長率                                                  | —<br>※ 2030年度目標のみ     | 【直近2021年度】<br>県内：7.4% 国内：2.5% | 大分県GDPの前年増減率が持続的に国のGDP増減率と同等以上 |

### ■ 連結経営成績（大分銀行グループ）

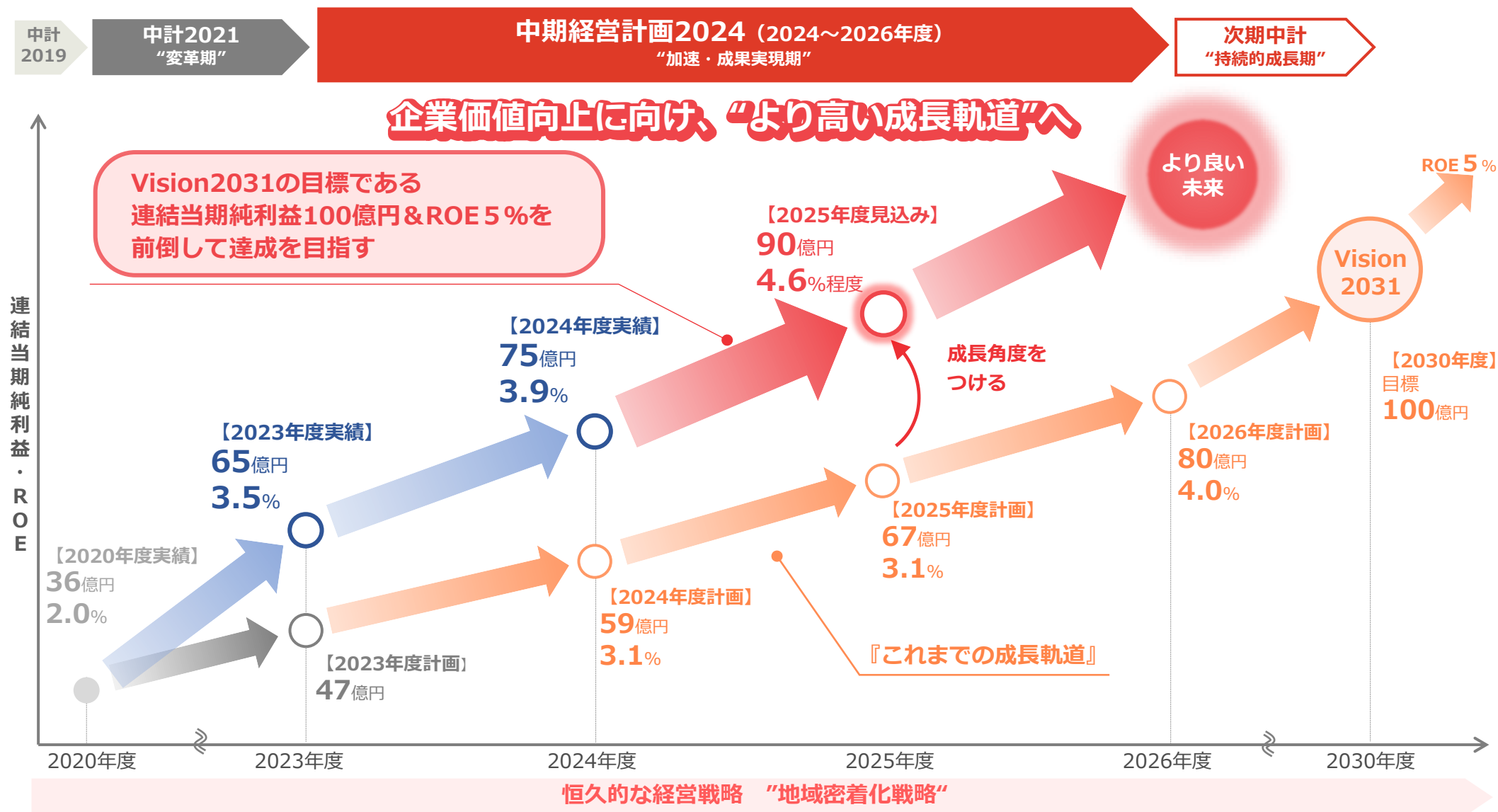
|                | 2026年3月期（予想） | 増減                                                                                        |
|----------------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経常収益（一般企業の売上高） | 803億円        |  +24億円 |
| 経常利益           | 132億円        |  +21億円 |
| 連結当期純利益        | 90億円         |  +15億円 |

### ■ 経営成績（大分銀行単体）

【コア業務純益ベース】 → 銀行の本業ベースの損益状況

|                              | 2026年3月期（予想） | 増減                                                                                          |
|------------------------------|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経常収益（一般企業の売上高）               | 682億円        |  +24億円 |
| <b>コア業務純益</b><br>【銀行の本業収益指標】 | 131億円        |  ▲37億円 |
| 経常利益                         | 120億円        |  +24億円 |
| 当期純利益                        | 82億円         |  +16億円 |

□ 企業価値向上に向けて“より高い成長軌道”を描き、Vision2031の早期実現を目指します。



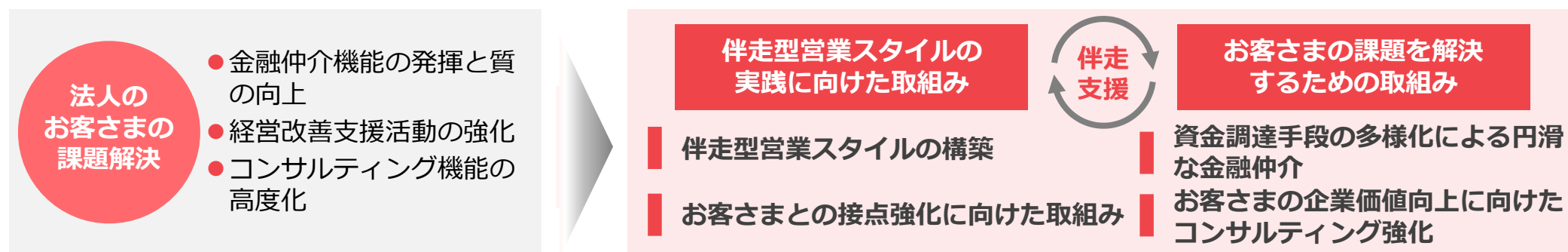
※ROE：株主資本ベース



2025年度 経営説明会

## Ⅲ. 現状の取組み、これからの取組み

- お客さまのサステナビリティ向上に向け、お客さまの意向や周囲の環境に合わせ伴走支援を実践してまいります。

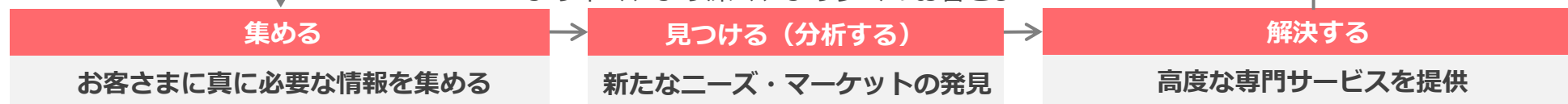


～ 行動イメージ ～

お客さまの持続的成長・持続可能性向上の実現

伴走サイクルの実践（経験と情報の蓄積）

より早く、より深く、より多くのお客さまへ



どこにいてもつながるカスタマーセントリックな営業態勢

お客さまのスタイルに応じて行内リソースを最適化（ヒューマン・デジタル）

信頼の更なる積み上げによる  
伴走力の強化

伴走支援を通じた  
お客さまとのエンゲージメント向上

お客さまとの価値観共有（信頼関係の構築）

大分銀行グループの強みであり、  
中期経営計画2024に取り組むうえで必要不可欠な要素

□ 様々な専門分野における連携強化で地域課題解決に向けたサポートを実現します。

## 製造業／ものづくり支援に向けた連携

### 連携目的

▼ 大分キヤノン株式会社をはじめとした企業間交流を推進することで、大分県内のものづくり技術と地域経済の発展に貢献すること

### 連携内容

- ✓ 製造業者向けセミナー・商談会の開催
- ✓ 業務の効率化、品質向上、コスト削減等のための相談窓口の開設
- ✓ 新たな金融サービスやソリューションの共同研究、開発
- ✓ 製造業における専門人財の育成（人的交流含む） etc



連携企業名：大分キヤノン株式会社  
ものづくり支援に向けた  
地域活性化に関する連携協定



2024年  
11月始動

## 医療・介護／ヘルスケア領域の課題解決に向けた連携

### 連携目的

▼ 株式会社フォレストホールディングスと株式会社大分銀行の強みを活かした「本業+α」の価値創造により、ヘルスケア領域の課題解決に努めるとともに、大分県内のWell-beingを高めるまちづくりに貢献すること

### 連携内容

- ✓ 大分県内のヘルスケア領域が抱える課題解決支援への取り組み
- ✓ 大分県内の地域資源の活性化および地域資源を活かしたウェルネス事業の推進
- ✓ 地域社会の「豊かさ」「健やかさ」を支えるWell-being OITAのモデル開発

連携企業名：  
株式会社フォレストホールディングス  
大分県民の「豊かさ」と「健やかさ」を  
両輪で高める連携協定



2025年  
5月始動

- 県内の基幹産業に対し、今後の事業成長、財務基盤の安定化に向けたソリューションの提供の一環として“資本性ローン”を導入いたしました。

## 基幹産業である造船業への伴走支援

### 資本性ローンとは

▼ 貸出条件に十分な資本的性質が認められる借入金  
(金融機関の自己査定上資本とみなすことが可能な融資)

### 背景

- ▼ 県南地区に位置する造船業は基幹産業として、永らく地域経済や雇用を支えているが、近年は、中国・韓国造船所との国際的な価格競争や鋼材価格をはじめとする原材料価格高騰の影響等を大きく受けている。
- ▼ このような状況を踏まえ、資本の充実による財務内容の強化、並びに地域経済にとって必要不可欠な基幹産業の価値向上を目的に、資本性ローンを導入に至る。



地域金融機関としての真の伴走支援を実践

幅広い金融サービスおよびソリューションの提供を通じて、お客さまの実情に応じた事業者支援の推進を図るとともに、

**「未来世代」へ向けて持続可能な社会の実現を目指す**

- ❑ 中期経営計画2024期間内での“法人営業の戦略的再配置”を検討しております。
- ❑ 効率的な営業体制の構築、人財の育成・強化を図ることで、“お客さまから頼られる銀行へと更に進化するための変化（バンキング+α）”の実現を目指します。

## 法人営業の戦略的再配置

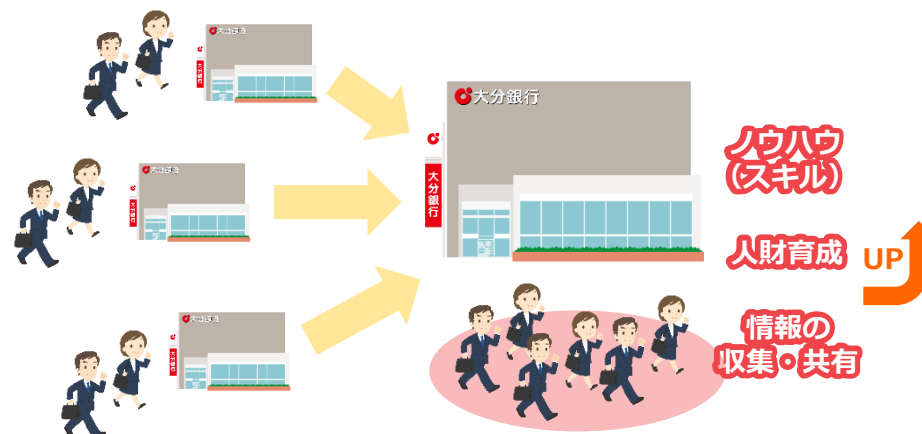
## 営業部門の一部拠点集約

 求める効果①  
 （多様化する経営課題解決）

## 拠点集約による人財力の強化（営業部門の底上げ）

▼ 地域の基幹店舗へ営業部門の拠点を集約することで

- ✓ 法人営業におけるノウハウ（スキル）共有による専門レベルの引き上げ
- ✓ 営業人員の集約化を通じた人財育成の充実
- ✓ 情報収集・情報共有の促進

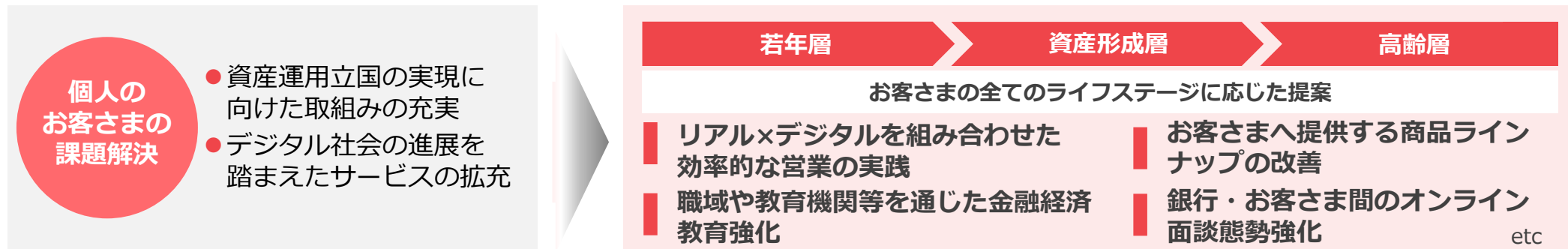

 求める効果②  
 （バンキング+αの実現）

## 捻出人財による高度専門領域への再配置（専門領域の引き上げ）

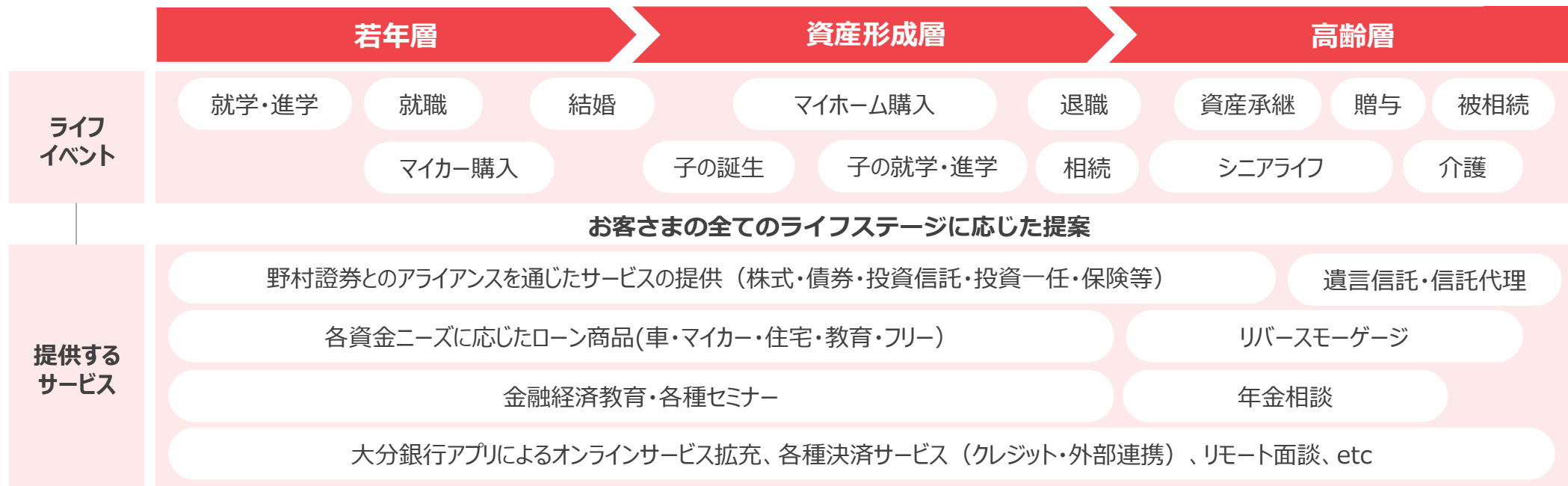
▼ 捻出した人財はリスキリング等を通じて高度専門領域へシフトし、“お客さまの付加価値額増加”へ繋げていく



- 「リアル × デジタル」ソリューションの提供によりお客さまに寄り添った営業態勢を構築してまいります。



～ 提供サービス ～



- 野村證券とのアライアンスを経て、ゴールベースでの全資産アプローチ※の実践の結果、分散投資を主眼とした投資一任（ファンドラップ）の販売などによる資産運用が伸長しています。
- 引続き地域のお客さまの資産形成・資産拡大に向けて、金融商品仲介資産拡大への取組みを継続してまいります。

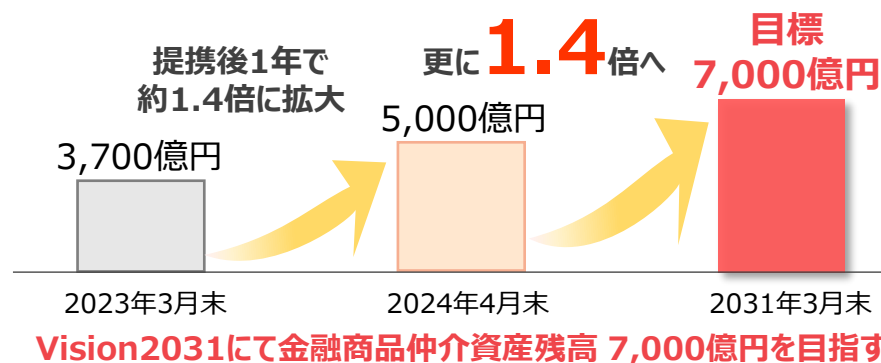
※ 全資産アプローチ：顧客毎の目標・実現時期等に合わせて保有資産全体を考慮の上で最適なポートフォリオを構築する投資運用手法

### 預り資産戦略

### ストック資産の積み上げ

「ともに進もう 豊かな未来へ」

OITA BANK  
×  
NOMURA  
Alliance



### 金融商品仲介残高（内訳）

|          | 2024年3月末 | 2025年3月末 | 増減   |
|----------|----------|----------|------|
| 金融商品仲介残高 | 4,983    | 5,466    | +483 |
| 投資信託     | 2,306    | 2,389    | +83  |
| 投資一任     | 342      | 538      | +196 |
| 債券       | 967      | 1,135    | +168 |
| 株式       | 1,368    | 1,404    | +36  |

### 投資一任（ファンドラップ・SMA）について

- ▼ 野村證券との包括的業務提携に伴い、新たに投資一任（ファンドラップ・SMA）の取扱いを開始しました。
- ▼ 投資一任とは、お客さまの資産運用の考え方等をもとに、複数のファンドを組み合わせた資産配分をご提案し、それに基づき運用、管理を行うサービスです。

- 地域の持続可能性を高めるための地域課題解決の本業化（ビジネスの確立）を目指します。

### 地域課題解決の本業化に向けたビジネススキーム

**地域ビジョン**… 地域活性化や地域産業振興など地域の課題解決・地域の持続的な成長に向けて、大分銀行が各自治体・団体・企業等と連携して、その実現を目指す取組み。地域への影響力が高い産業等に対するプロジェクトを推進する。



#### 事例

#### 佐伯市・タイミー・大分銀行・観光まちづくり佐伯 連携協定締結について

～ 労働力不足の解消・関係人口増加への取組み ～



#### 連携内容

- ・佐伯市内事業者の人材確保および雇用創出に関する事
- ・地域産業の振興に関する事
- ・多様な働き方の推進に関する事
- ・関係人口増加に向けた取組み推進に関する事

□ 地域課題解決に向けて、地域への新たな価値を提供する新会社を設立（2025年4月）いたしました。

## エクイティ投資の挑戦

 大分キャピタルパートナーズ株式会社



新会社

新たな価値提供

## 地域プラットフォームの提供

 OITA PLAT  
おおいたプラット株式会社



新会社

設立目的

複雑化・多様化する地域やお客さまの課題に対して、従来以上に踏み込んだ伴走支援を実施

投資領域

事業承継

事業再生

地域活性化

▶ ビジネスモデル（プライベートエクイティファンド）

ファンドレイズ

ファンド立上げ

ソーシング

投資先探索

エグゼキューション

投資実行

バリューアップ

企業価値を  
高める

エグジット

キャピタル  
ゲイン

設立目的

デジタルとリアルで人・地域・行政・企業をつなぎ、大分で過ごす幸せの総量を増やすことを目的として「大分共創プラットフォーム」という新たな価値を提供していく

▶ おおいた共創プラットフォーム

誰でも使いやすい地域限定のデジタル地域通貨アプリ

＝ スーパーアプリ



- ✓ 地域通貨やポイントを活用して地域商店街の消費を促進
- ✓ 地域内限定の通貨で域外流出を抑制
- ✓ 使いやすいアプリで情報格差を解消

- 人的資本経営の実践を通じ、従業員一人ひとりが働きがいを実感し、地域の価値創造に向け躍動する「人・組織・風土」づくりを目指します。

## 「人づくり」の取組み

## 専門人財の創出に向けたリスキリング支援

出向による専門分野の  
リスキリング

- ▼法人人財やIT・DX等にデジタル人財等、多種多様の専門人財を創出するため、メガバンクや大手システムインテグレーター等に従業員7名を出向  
（出向先例：三菱UFJ銀行、みずほ銀行、横浜総合研究所、NTTデータ etc）

専門的研修プログラムによる  
リスキリング

- ▼学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学（社会人向け大学院）のプロジェクト研究として「だいぎん地域価値創出プロジェクト（新規事業の創出）」に従業員9名を参加（1年間のカリキュラム）

## 「組織づくり」の取組み

## 多様な人材の集まる組織づくり

## 採用の多様化

## 通年採用

- 年間を通しての人財を採用

## リファラル採用

- 役職員から家族・友人等の紹介・推薦を受ける採用

## キャリア採用

- スキルや経験を持つ即戦力人財の採用

## ジョブリターン制度

- 中途退職（元役職員）した人を再雇用する制度  
（元役職員を対象としたアルムナイコミュニティも開設）

## 「風土づくり」の取組み

## 新人事制度の検討

誇りを胸に、働きがいが高まる  
新人事制度

- ▼従業員の頑張りが報われ、従業員が安心して働き続けるための新たな人事制度として、当行独自の“ジョブ型”の人事制度を検討



2025年度 経営説明会

## IV. 企業価値向上へ

- 近年資本市場から上場企業全体に対する企業価値向上への要求が高まる中で、当行に対する市場評価は低迷している。

## 外部環境

東証からの要請事項

人的資本経営の重要性

ESG投資の拡大

サステナビリティ経営

非財務情報への取組み

投資家の関心の高まり

## 市場からの評価

PBR（株価純資産倍率）は  
東証プライム 最低水準

株主総会における経営トップの  
賛成率は上場地銀 最低水準  
＊2024年就任時の賛成率 74%

- PBRは東証プライム最低水準で引き続き推移しており、市場からの評価は低い状況です。
- 資本効率や収益力、将来の成長期待（中期経営計画2024収益計画）の低迷等がその要因と認識しております。

## PBR・株主資本ROE・PERについて

## 現状

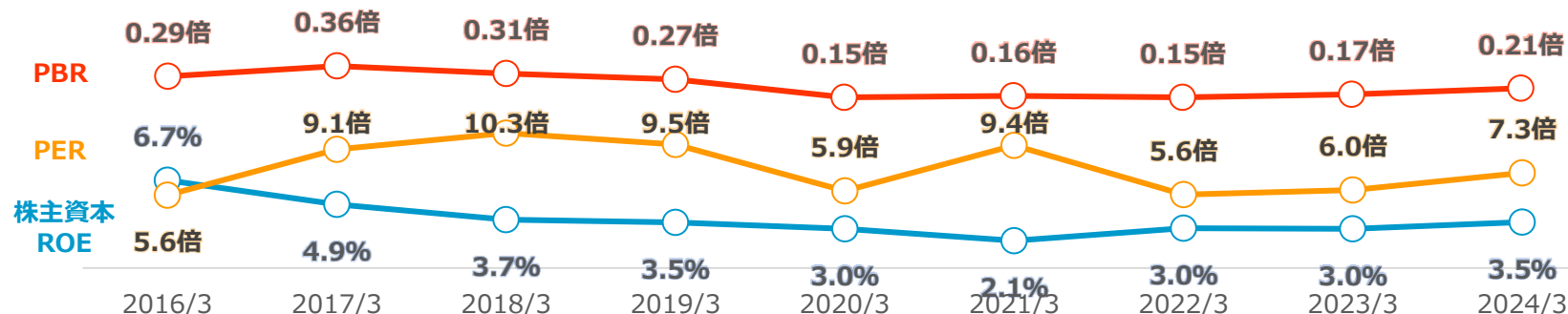
|         | 2023年度 |   | 2024年度 |
|---------|--------|---|--------|
| PBR     | 0.21倍  | ➡ | 0.25倍  |
| PER     | 7.3倍   | ➡ | 7.1倍   |
| 株主資本ROE | 3.5%   | ➡ | 3.9%   |

## 市場が求める水準

|         |        |
|---------|--------|
| PBR     | 1倍     |
| PER     | 15倍    |
| 株主資本ROE | 8%~10% |

- ✓PBR： 株価が企業の資産状況と比べて割安か、割高かを判断する指標。
- ✓ROE： 企業の経営効率（資本効率）を判断する指標。
- ✓PER： 株価が企業の利益と比べて割高か、割安かを判断する指標。

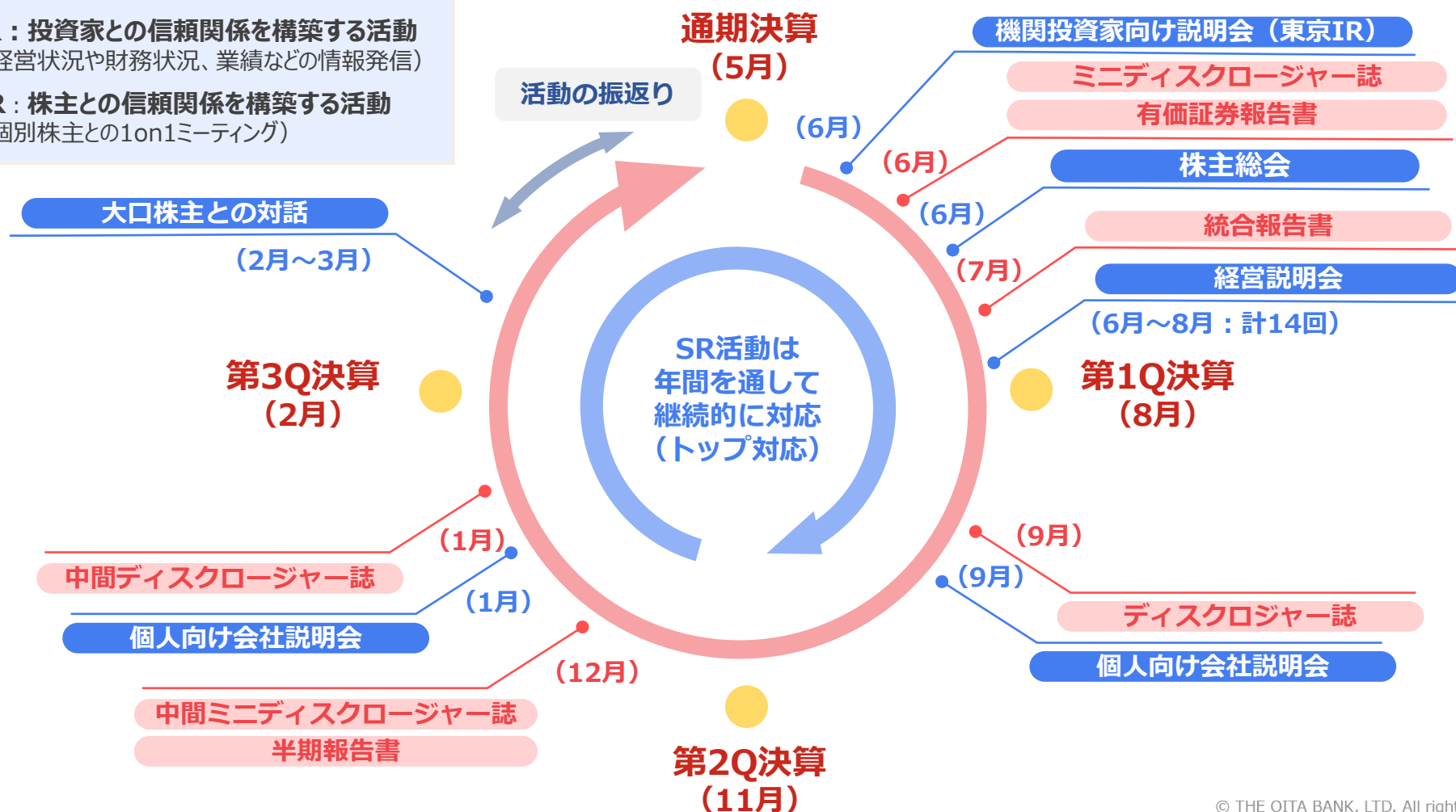
## 推移



- お客さまや投資家との対話機会の拡大を通じて、当行の理解を深めていただくことで、合理的な株価形成とともに大幅な株価変動の抑制を目指します。

## IR・SR活動の年間イメージ

- IR：投資家との信頼関係を構築する活動  
(経営状況や財務状況、業績などの情報発信)
- SR：株主との信頼関係を構築する活動  
(個別株主との1on1ミーティング)



- 2024年度を資本政策元年と捉え、年間を通じた資本効率の改善に着手しました。
- 実績としては、株主資本ROEが3.9%と前年度対比0.4P改善、株価の年間騰落率は15%上昇（九州地銀第2位）、総還元性向は41.8%と前年度対比18.8%増加いたしました。

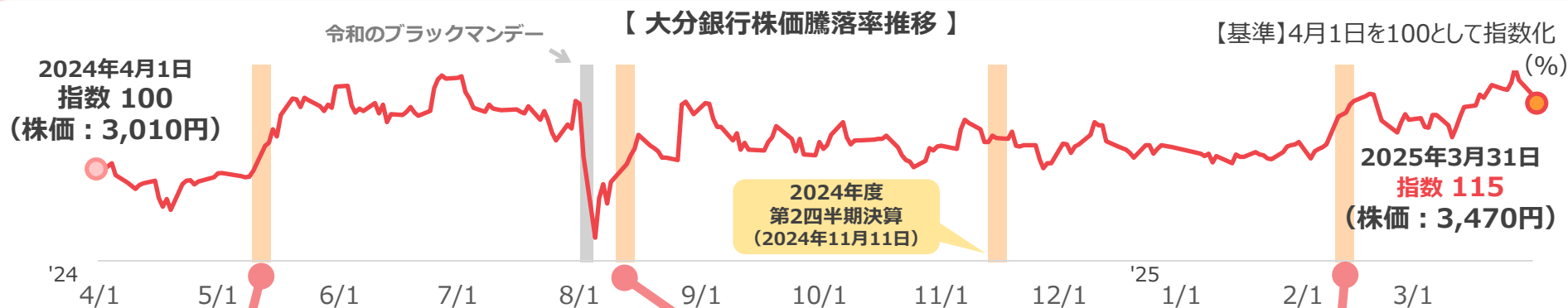
## 2024年度

## 企業価値向上に向けた資本政策

## Topics

2014年度以降、10年ぶり自己株式取得

1株当たり年間配当金を15円の大幅増配

総還元  
性向2023年度  
23.0%2024年度  
41.8%

## 2023年度通期決算（2024年5月13日）

- ▼ 2023年度期末配当5円増配  
(1株当たり配当金 90円→95円)
- ▼ 2024年度配当予想額5円増配  
(1株当たり配当金 95円→100円)

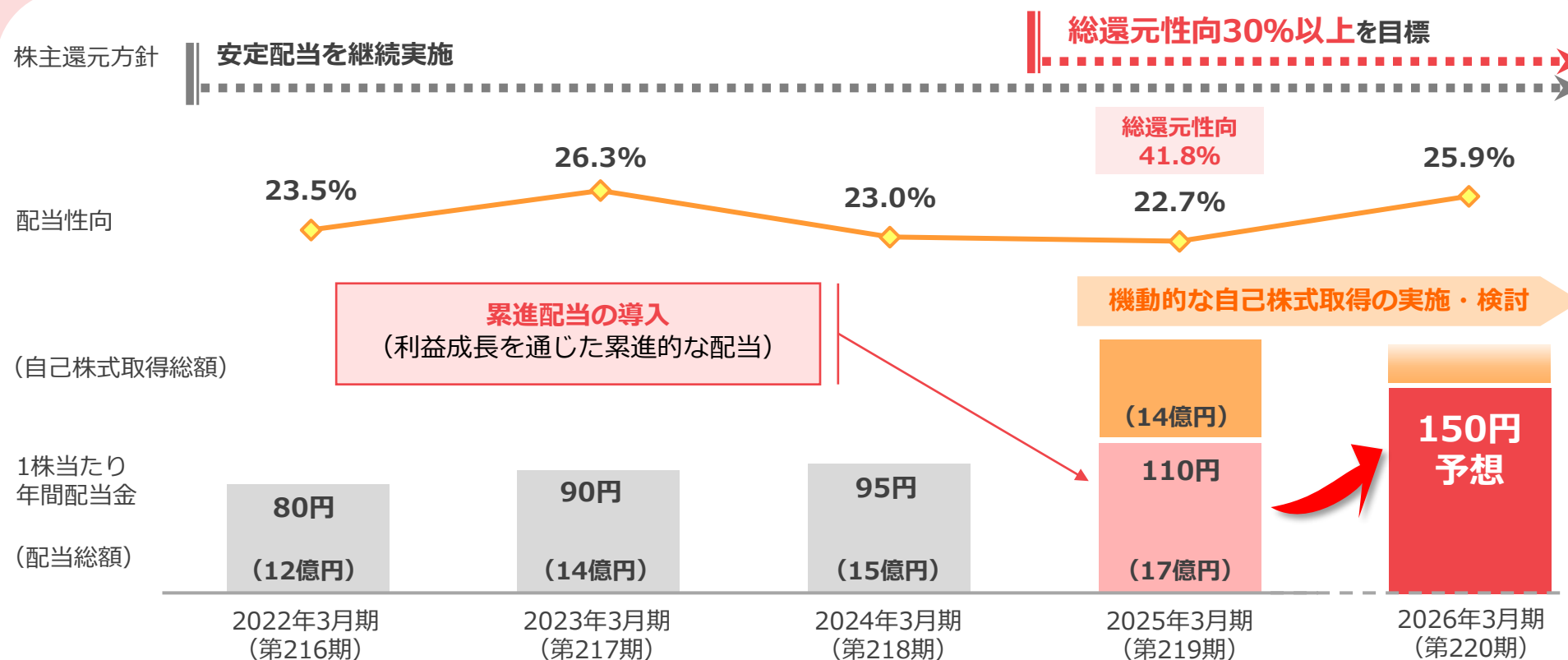
## 2024年度第1四半期決算（2024年8月9日）

- ▼ 自己株式600百万円（株式数187千株）を取得（2024年8月～11月）
- ▼ 自己株式250千株を消却（2024年12月）

## 2024年度第3四半期決算（2025年2月10日）

- ▼ 2024年度期末配当予想10円増配  
(1株当たり配当金 100円→110円)
- ▼ 自己株式850百万円（株式数246千株）を取得（2025年2月）
- ▼ 自己株式300千株を消却（2025年3月）

- 当行の経営戦略に賛同し応援していただける「ファン株主」を増やしていくため、「ド地銀経営」を貫くとともに、利益成長を通じた株主還元を一層強化してまいります。



※ 2025年3月期の1株当たり年間配当金および配当総額、配当性向は期末配当が第219期定時株主総会で承認された場合の金額。

※ 2026年3月期の1株当たり年間配当金および配当総額、配当性向は予想の金額。自己株式取得については、株主還元方針に則り、機動的な自己株式取得の実施を検討していくことを想定。

※ 配当性向については、親会社株式に帰属する1株当たり当期純利益をベースに算出。



2025年度 経営説明会

# V. 伝統の重みを受け継ぎ、未来へ向けて

## 第二十三国立銀行 創立



旧二十三銀行本店  
(現 赤レンガ館) 竣工

## 大分合同銀行 発足 (大分銀行と二十三銀行が合併)

## 大分銀行へ商号変更 (現 大分銀行 始動)



創立132周年

2025年2月1日  
(令和7年)

マイナス金利解除

2024年

コロナショック

2019年

マイナス金利導入

2016年

リーマンショック

2008年

創立100周年



株式を東証・大証第1部に上場

1993年

1974年

1966年

1953年 (昭和28年)

1927年 (昭和2年)

1924年

1923年

1913年

1922年

1893年2月1日  
(明治26年)

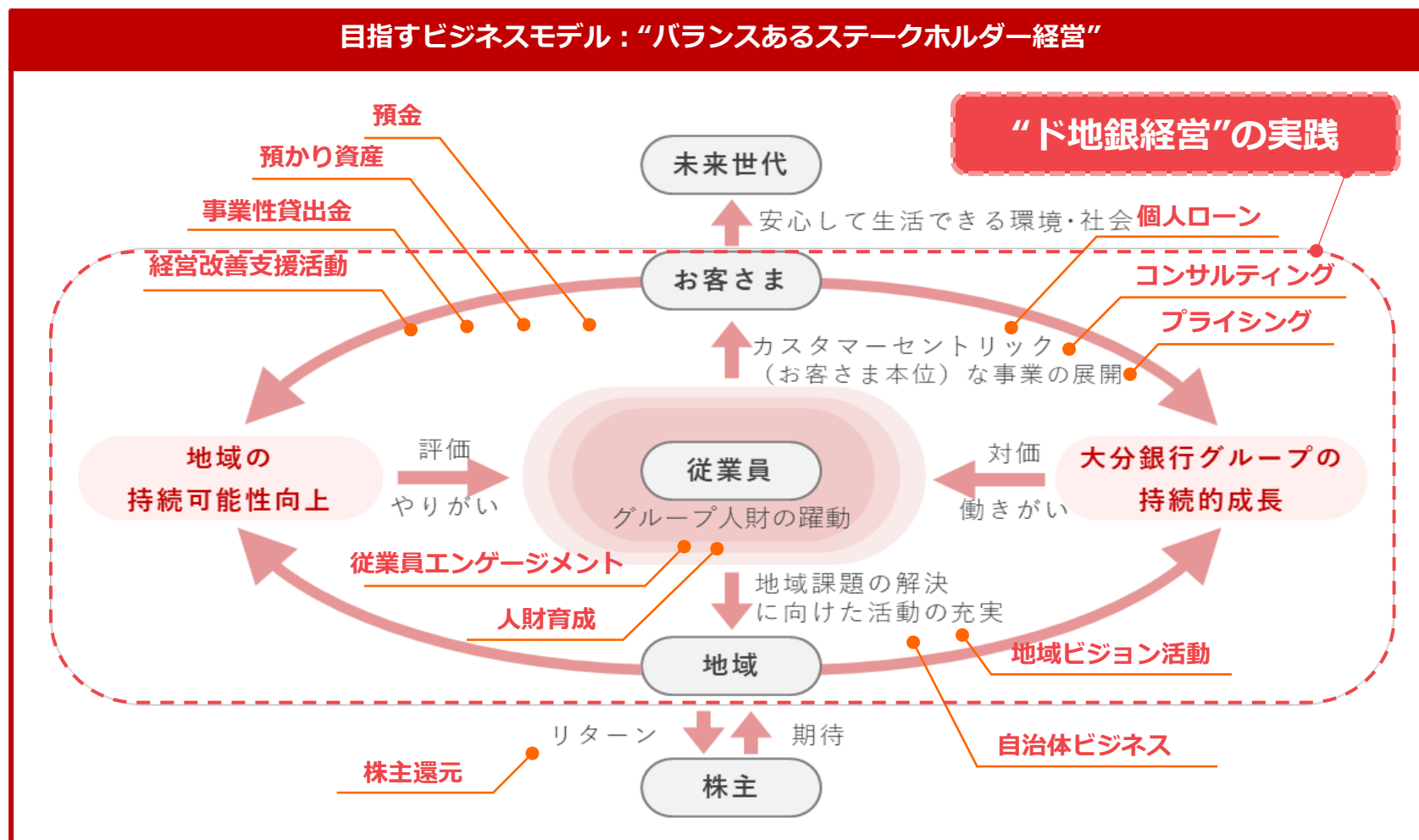
## 大分銀行 創立

現本店 開業



全国的な恐慌の影響で13ヵ月間休業  
(井上準之助氏ほか、地域の方々のご支援により復活)

- 徹底した「ド地銀経営」の実践により、「バランスあるステークホルダー経営」を実現してまいります。



企業価値（PBR・ROE）向上の取組み

# 感動を、シェアしたい。

夢を共に分かち合う。厳しさを共に実感する。長い時間を共に過ごし、考え抜き、とことん話し合う。

それも、ひとりの行員とお客さまという関係を超え、何としてもお役に立ちたいという、執念に近い情熱。

アイデアにあふれ、期待に応える提案。また、ひとりの人間としての信頼。そこで、はじめて、強い絆が生まれる。

やりきること。挑戦すること。諦めないこと。

そして、地域の皆さまやお客さまと、その発展・成功を共に喜び、「大分銀行で良かった」と感動して頂くこと。

それが私たちの、感動です。



感動を、シェアしたい。

大分銀行

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化等により変動する可能性があることにご留意ください。

© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.